

ネオス、AIチャットボットサービスをフルリニューアル！ 【OfficeBot】powered by ChatGPT API を提供開始 組織固有データを活用した高度な質問応答を実現

JNSホールディングスの子会社であるネオス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:池田 昌史、以下 ネオス)は、AIチャットボット【OfficeBOT】において、AIの研究開発を推進する米国 OpenAI 社の大規模言語モデル「GPT」を活用したサービス強化を行い、【OfficeBot】 powered by ChatGPT API としての提供を開始いたしました。

【OfficeBot】の特徴である、ドキュメントなどの組織固有データを活用した業務効率化やナレッジ共有機能を飛躍的に強化し、DX時代に相応しい革新的な組織運営をサポートしてまいります。

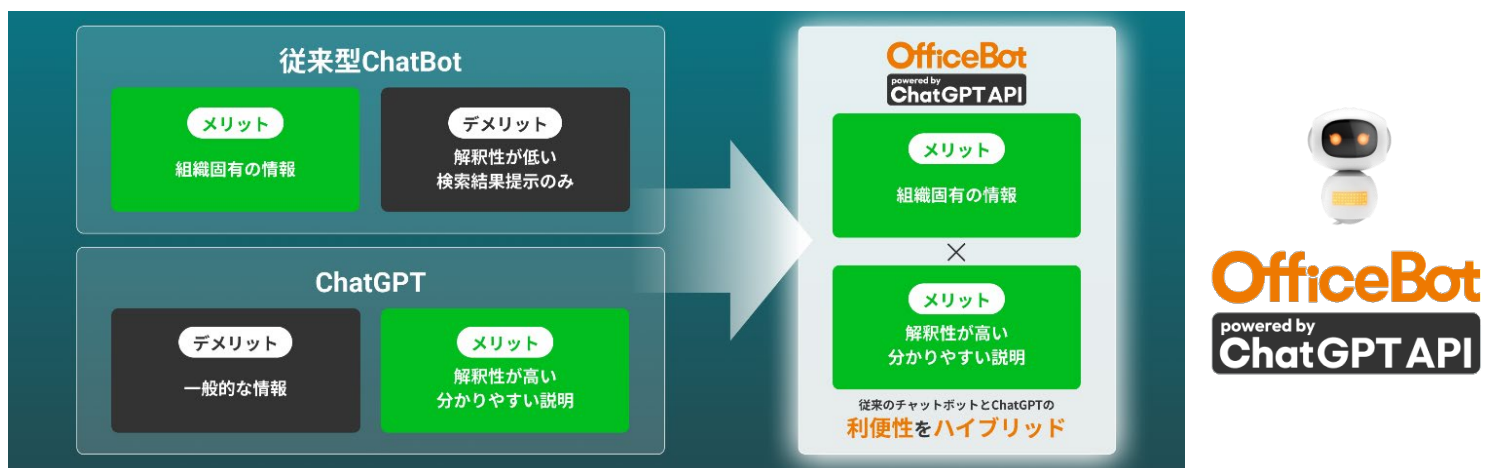
◆「ChatGPT × 組織固有データ」で革新的な社内DXを実現

【OfficeBOT】では、ユーザーの質問に対してドキュメント情報をもとに回答する機能『ドキュメント学習 AI』を ChatGPT 連携により強化し、ベータ版を4月下旬にリリースすることを発表しておりました。

この反響や市場ニーズを踏まえてさらなる機能開発を推進し、取り扱うデータをドキュメントだけでなく FAQ*や WEB サイトの情報、問い合わせ履歴などにも拡張することで、幅広い社内データや業務知識に基づき高度な自動応答を実現する仕組みへと進化させ、この度正式に【OfficeBOT】 powered by ChatGPT API としての提供を開始いたしました。

リニューアルのコンセプトは、組織固有データと高度な質問応答の融合により、チャットボットを通じて得られる体験を「検索」から「解説」へと革新することにあります。ChatGPT は質問に対して高度な回答が可能ですが、一般的に公開されている情報に限定されることから、組織固有の知識が必要とされる質問には的確な回答を得ることはできません。また、従来の【OfficeBot】においては組織内の情報に基づく回答が可能一方、その内容は BOT がドキュメントから検索してきた情報やシナリオに基づく内容の提示に留まり、情報の取捨選択はユーザーの検索リテラシーに大きく依存していました。

これを踏まえ、【OfficeBot】独自の情報処理技術と検索アルゴリズムの融合、さらに ChatGPT との連携による高度な文章生成といったメリットを統合することで、組織固有の質問に対しても「関連性の高い情報」を「わかりやすく説明する」というユーザーエクスペリエンスの実現に成功しました。社内規定や製品マニュアルなどのドキュメントから FAQ、Web サイト、問い合わせ履歴など、構造化されていない多様な資産を活用した高度な情報共有体験を通じて、業務の効率化やナレッジ共有を一層促進いたします。



【OfficeBot】powered by ChatGPT API は、業界をリードする OpenAI の自然言語 AI システムである ChatGPT の画期的なテクノロジーに基づいて構築されています。

「検索」を「解説」に革新！

ChatGPTと連携して、
組織内の関連情報を参考に具体的な解説を提供

FAQ、問合せ履歴、各種資料、WEBなど、キーワードの拾いにくい、構造化されていないデータからでも、必要とされる情報を、より効率的・具体的に提示します。

従来のChatBot

キーワードが一致した検索結果の提供

ユーザ体験 **低** 管理工数 **大**

リモートワークするのにどんな申請が必要ですか？

以下に知りたいことはありますか？

テレワークは誰でも実施できますか？

テレワークを実施する際の申請はどうすれば良いですか？

突発でテレワークを申請することは可能ですか？

テレワーク中に業務の都合で休憩時間を変更できますか？

しかも…できるだけ検索結果をわかりやすくするために…
BOTに登録するデータはFAQやシナリオなど
構造化されている事が前提。

OfficeBot powered by ChatGPT API

関連情報を参考にした具体的な解説を提供

ユーザ体験 **高** 管理工数 **小**

リモートワークするのにどんな申請が必要ですか？

リモートワークをするためには事前に申請が必要です。
「総務人事FAQ」によると、テレワークは計画的に行うものとしているため、原則は前日までの申請となりますが、所属長が許可した場合に当日申請で認められることがあります。ただし、突発的なテレワークは例外であり、事前に申請ができなかった場合に限り、当日申請が認められることがあります。

以下が参考にした情報です
【総務人事FAQ.pdf】 【ネオス社内規定.pdf】

FAQ、問合せ履歴、各種資料、WEBなど、
非構造化データでもOK！

◆【OfficeBOT】について

ネオスが提供する【OfficeBot】は、チャットボットによる問い合わせ業務の効率化や、生産性・競争力を高めるナレッジマネジメントツールとして、業界業種問わず数多くの企業に導入されています。独自に開発したAIにより、社内規定などのドキュメントや社員のノウハウ・知識といった、「組織内のあらゆるデータ」をセキュアに活用できる仕組みが最大の特徴で、既存のデータを活用した効率的なチャットボット運用を実現するとともに、社員一人ひとりの疑問や業務課題を的確かつ迅速に解決します。

詳細は【OfficeBOT】のサービスサイト、またはネオス HP のお問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください。

【OfficeBot】サービスサイトはこちら: <https://officebot.jp/>

お問い合わせフォームはこちら: <https://www.neoscorp.jp/inquiry/>

《ネオスの ChatGPT ソリューションについて》

ネオスでは、お客様のニーズに応じて ChatGPT をより効果的に、よりセキュアに活用するためのコンサルティングから開発・環境構築まで、幅広いご要望に対応したソリューションを提供しております。「ChatGPT をどう活用すればいいかわからない、実装・開発が出来ない、セキュリティの懸念がある」等々、抽象的な内容も、ヒアリングベースでご相談を承るとともに、お客様に最適なソリューションをご提案いたします。

ChatGPT ソリューションお問い合わせはこちら: <https://www.neoscorp.jp/inquiry/>

※ネオス HP のお問い合わせフォームへ移動します

＜JNS ホールディングスについて＞

【商号】JNS ホールディングス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【上場市場】東京証券取引所 プライム市場（証券コード:3627）

【代表者】池田 昌史

【URL】<https://www.jns.inc>

【グループ事業内容】

◆ライフデザイン事業

知育・教育、健康、FinTech、キャラクター等におけるデジタルテクノロジーを活用したサービスとソリューションを提供

◆AI&クラウド事業

AI チャットボットやクラウドアドレス帳サービスなどの SaaS や AWS 等を活用した Tech ソリューションを提供

◆コネクテッド事業

通信デバイスの開発・製造や関連したプラットフォーム・アプリの開発を通じて、モノとインターネットを融合した価値を提供

＜ネオスについて＞

【商号】ネオス株式会社

【本社】東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

【URL】<https://www.neoscorp.jp>

【代表者】池田 昌史

【事業内容】情報通信サービスおよびソフトウェア、コンテンツ開発

＜このニュースリリース・素材の提供に関するお問合せ先＞

JNS ホールディングス株式会社

担当: 経営企画部 広報チーム

Email: info@jns.inc

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-23-1 住友不動産神田ビル 2 号館

<https://www.jns.inc>

※記載されている社名、製品名、ブランド名、サービス名は、すべて各社の商標または登録商標です。